

## Woltが台東区と地域の見守りに係る協定を締結 ～デリバリー先で異変を見つけた際に、行政の窓口と速やかに連携～



デリバリーサービス「Wolt（ウォルト）」を展開するWolt Japan株式会社（本社：東京都渋谷区、代表：ナタリア・ヒザニシヴィリ、以下 Wolt）は、東京都台東区（区長：服部征夫、以下、台東区）と、地域の見守りに官民が連携して取り組むことを目的とした「台東区高齢者地域見守りネットワーク事業に関する協定」を締結しました。Woltの配達パートナーがデリバリー先で異変や、何らかの支援を必要とする区民を発見・検知した際、速やかに行政の相談窓口と連携することを目的としています。

本協定におけるWoltの役割は以下の通りです。

- Woltでデリバリーした先で何らかの異変を発見・察知した場合、行政の相談窓口に通報
- 台東区による高齢者等の見守りに関する情報提供の周知・啓発への協力

少子高齢化が進む中、地域のより多くの目で高齢者や体に不自由がある市民の方々を見守る体制が必要とされています。Woltは、「街と暮らしをより豊かに」を企業理念として掲げています。誰もが住みやすい街の実現に貢献するために、本協定の締結に至りました。

このほか、Woltは今般、江東区の「高齢者地域見守り支援事業」と文京区の「ハートフルネットワーク事業」にも、地域見守りの協力企業として登録をいたしました。Woltは、今後も地域社会への貢献を目指してまいります。

### **「台東区高齢者地域見守りネットワーク事業に関する協定」について**

台東区は、高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、高齢者に関わる業務や、台東区内を定期的に巡回、訪問している事業者と連携しています。本見守りネットワーク協定を締結した事業者は、日常業務の範囲内で、地域の高齢者に対してゆるやかな見守りを行い、なんらかの異変を発見した場合には区や地域包括支援センターに連絡します。

詳細は[台東区のウェブサイト](#)をご参照ください。

### **Woltについて**

Woltはヘルシンキを拠点に、地域で愛される人気のレストランやショップとの出会いの機会を創出し、商品の迅速な配送サービスを提供するテクノロジー企業です。地域の物流サービスからリテールに関するソフトウェア、金融ソリューションまで幅広い技術を開発しています。

2014年に創業し、2022年にDoorDashと協力関係を構築しました。現在、世界の30を超える国においてWoltのプロダクトとブランドで運営を行なっています。